

東京の まちづくり

- 特集1 都立公園開園150周年について
- 特集2 木造住宅密集地域を改善する、命を守るみち～特定整備路線の整備推進～
- 特別特集 TOKYO PARK GARDENAWARD@代々木公園 公園を新たに花の魅力で彩ります



No.184(3・4月号)は、令和5年1月31日時点の情報に基づき作成しています。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、本誌掲載のイベントの予定は変更となることがあります。

都立公園開園150周年について



Tokyo park
150 years

明治6(1873)年1月15日の太政官布達第十六号により、日本における都市公園制度がスタートし、この年の10月に最初の都立公園となる上野公園と芝公園が開園しました。令和5(2023)年は、この太政官布達により都立公園が開園してから150周年を迎える記念の年となります。

これまでの都立公園の歴史や果たしてきた役割を振り返りつつ、公園の魅力を発信し、更なる発展を図る機会となるよう、「東京都都市公園制度制定150周年記念事業」を国や関係団体と連携しながら進めています。

うえのん

150周年記念事業特別アンバサダー
(上野恩賜公園公式キャラクター)



イベントのお知らせ

公園めぐりデジタルスタンプラリー

全86箇所の都立公園、庭園、動物園・水族園を対象としたデジタルスタンプラリーを開催中です。獲得スタンプ数に応じて、オリジナル双子パンダピンバッジをプレゼント!アプリ「furari」をダウンロードして、是非ご参加ください。

実施期間 令和5年1月15日(日)～令和6年3月31日(日)
※特典の交換開始は令和5年4月中を予定しています。
詳細は、今後アプリ内にてご案内します。

アプリダウンロードはこちら→



30スタンプ特典(金) 20スタンプ特典(銀) 10スタンプ特典(銅)

It's My Park Day!みんなで公園日和

毎月1回、都立公園の一斉イベントを行っています。3月は都立公園に数多くある花の見どころでお花見を楽しむ、「みんなでお花見日和」を開催します。

その他にも様々なイベントを実施していきます!参加方法等の詳細は、150周年記念事業特設HPをご覧ください。

150周年記念事業
特設HPはこちら→



Twitterはこちら→
@Tokyopark150



カワイイだけではないフェネック

井の頭自然文化園 飼育展示係 大平まどか

大きな耳やふわふわの尾が魅力的なフェネック。寒い時期は、数頭が集まって「フェネックだんご」になって休む姿が見られ、来園者からは「かわいいね」という声がよく聞かれます。他にも、「チワワみたい」「飼いたい、飼えそうだな」という声もよく耳にします。確かに、フェネックはイヌ科の動物で、おとなになつても体重が1kg前後のため、チワワなどのイヌと同じように飼えそうと思ってしまいます。しかし、フェネックは野生動物であり、ペットには向かない動物です。

フェネックは北アフリカやアラビア半島の砂漠にくらし、気温の高い日中は巣穴で休んだり、地中に潜むネズミや虫などを捕まえたりするため、穴掘りが得意です。井の頭自然文化園では、野生での環境に近づけるため放飼場に砂を敷きつめています。朝、放飼場を見ると、「一晩でこんなに!?'と驚くほど穴が掘られていることがあります。夜行性のため、来園者や私たち職員が帰った後、活発に行動しているのです。フェネックが夜間、自由に穴掘りができるような環境を自宅に整えるのは、相当大変です。

昨夏、井の頭自然文化園は公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の「ペットに幸せにできない動物」キャンペーンに賛同し、動画作成に協力しました。フェネックがペットに向かないその他の理由や、野生動物のペット化が招くリスクについても紹介していますので、ぜひ動画を見て知つていただけると嬉しいです。そして私たち飼育係は、みなさんが動物を見て感じた「かわいい」という気持ちを大切に、野生動物の保全にも意識を向けていただけるよう、これからも動物が持つ本来の生態を観察できる展示づくりをめざしていきたいと思います。

動物園の“かお”

多摩動物公園
サーバル

令和4(2022)年10月に多摩動物公園で生まれたサーバルの子どもです。ぜひ会いに来てください。



写真:サーバルの子ども
(撮影日:2022年12月14日)